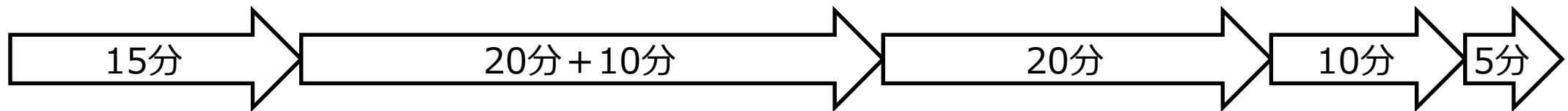


# アイデア創出の授業方法（2）

【4人グループワーク・バージョン】

所要時間80分 (+テーマ説明&プロセス説明: 10分)

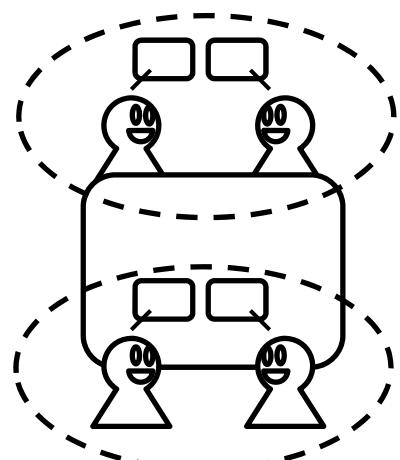


醸成

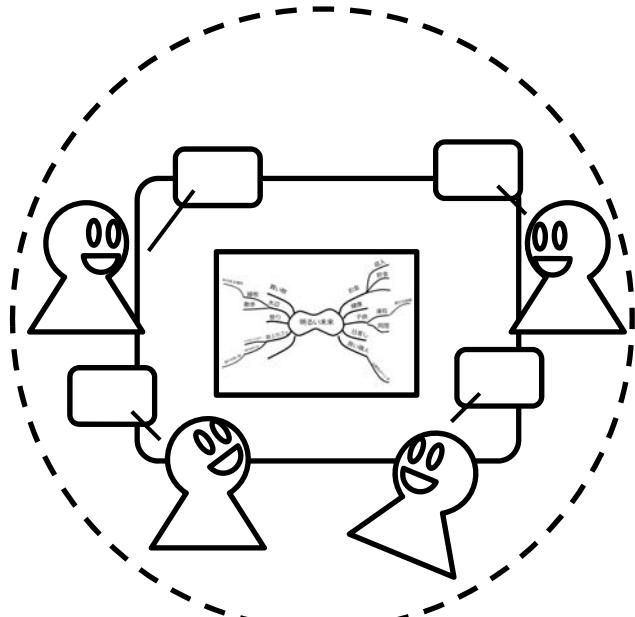
集約

表現

発表 抽出



ペアで、  
雑談的にアイデアの話し合い。  
5分×3回 (横、縦、斜め※)



4人で、  
アイデアを出し合い、  
アイデアは、すべて  
マインドマップで書き留めていく。

20分 (足りない場合は、+10分)

【グループ版】

プレゼンにまとめる  
デザインスケッチを描く

【個人版】

各自が、マインドマップから  
自分なりに、  
アイデアを纏める。

【グループ版】

1分程度の  
プレゼン

【個人版】

手短に紹介。

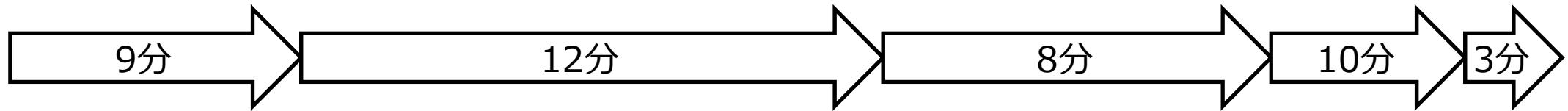
アイデアを  
張り出し  
【魅力的だ】  
と思うものに  
☆をつける

#### 上手くやるコツ

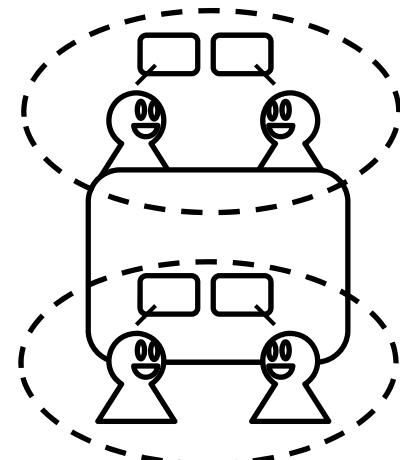
- 思いついたことは、ためらわないで、すべて書いていく  
(ごちゃごちゃしたり、線が交差してもOK)
- 途中から口もはさんで分岐してどんどん書く。  
(アイデアは分岐する！という特性がある)
- 削るのは後回し。他の人の意見も、自分のも、否定しないで出す。  
(もしかしたら、新たに書いたところから、  
たくさん枝が伸びるかもしれない)
- 枝がたくさん流入している枝だけでなく、  
ほとんど伸びていない枝からも、分岐を作つてみよう。

50分の授業に、圧縮した「バージョン2・コンパクト版」

所要時間42分 (+ テーマ説明1分、手法説明40秒×5=4分、張り出し物の回収1分、予備2分)

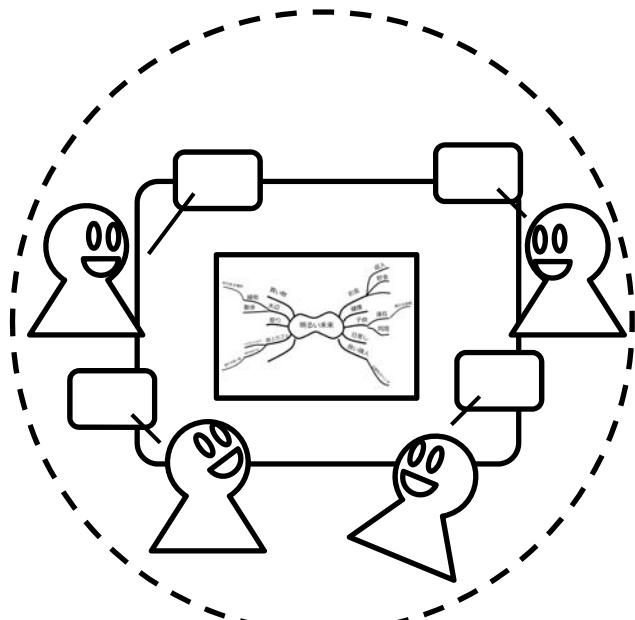


## 醸成



ペアで、  
雑談的にアイデアの話し合い。  
3分×3回（横、縦、斜め※）

## 集約



4人で、  
アイデアを出し合い、  
アイデアは、すべて  
マインドマップで書き留めていく。

20分（足りない場合は、+10分）

## 表現

### 【グループ版】

プレゼンにまとめる  
絵（デザインスケッチ）を描く

### 【個人版】

各自が、マインドマップから  
自分なりに、  
アイデアを纏める。

## 発表

### 【グループ版】

1分程度の  
プレゼン

アイデアを  
張り出し  
【魅力的だ】  
と思うものに  
☆をつける

### 【個人版】

手短に紹介。

### 上手くやるコツ

- 思いついたことは、ためらわないで、すべて書いていく（ごちゃごちゃしたり、線が交差してもOK）
- 途中から口もはさんで分岐してどんどん書く。（アイデアは分岐する！という特性がある）
- 削るのは後回し。他の人の意見も、自分のも、否定しないで出す。（もしかしたら、新たに書いたところから、たくさん枝が伸びるかもしれない）
- 枝がたくさん流入している枝だけでなく、ほとんど伸びていない枝からも、分岐を作つてみよう。

「バージョン2・コンパクト版」では、生徒たちが

- ◎プレゼンにまとめる
- ◎「絵」を描く
- ◎迅速に発表する
- ◎迅速に☆を書いて回る

という「創造技法の基礎スキル」を備えていることが前提となっている時間構成です。

指示を的確に伝え、人々の動きの流れを迅速にさせる指揮力が求められます。  
(いわゆるファシリテータとしての力が、要ります)

何度か体験し、実践すれば、共通体験をしている生徒たちは、一言指示をすればできるようになるでしょう。

それまでは「90分バージョン」が実施できる連続2コマ授業などを用いて先生も生徒も「方法に慣れていく」ようにしてください。

生徒たちの姿勢が意欲的な学校であれば、二度目は、スムーズに。三度目からは、短い時間（50分版）での実施が四度目からは、ファシリテータの資質のある学生によるファシリテーションを実施していくことが、出来るでしょう。